



谷澤 政司 議員

ヘルプマーク導入で障がい者に援助・配慮を



ヘルプマーク

問 ヘルプマーク普及に市の取り組みと、取り付けて来高される観光客に対し、国際観光都市としておもてなしの心を高めて援助・配慮できるよう市民に周知する取り組みは。

答 配布開始は今年8月1日からである。ポスター掲示でヘルプマークの意味を市民に伝え、やさしいおもてなしの意識向上に努めていく。

荘川町の経済活性化

問 国道156号で今年2月雪崩が発生し長期通行止めと岩瀬トンネルと岩瀬橋は幅員が狭く老朽化で安全対策が必要。要望状況は。



岩垣 和彦 議員

市長は「全体の奉仕者」として公平・中立・平等をどう確保するか

問 引き続き白川村と連携して県へ要望する。

問 荘川町の自然や歴史を生かし、白山ユネスコと天然記念物の荘川桜の課題に取り組み経済対策を。

答 今年度は白山が開山1300年であり県がシンポジウムを計画しており、市全域で普及啓発する。荘川桜は老木であり、生育環境の改善に専門家から意見を聞き地元と連携し保全管理に努め、経済活性化につなげていく。

第二弾の国伝建地区

問 歴史的な高山別院を含む寺内景観地区の格上げに、国の選定に向けた取り組みを。

答 文化庁や専門家と相談して、国の伝建地区の拡大に取り組む。



松山 篤夫 議員

指定目指そう！「廣瀬城跡」を国の文化財に

観光政策について

問 廣瀬城跡の「畝状空掘群」の保存状態は全国でも有数の状態であり、貴重な観光資源でもある。県史跡広瀬城跡の国指定に向けた取り組み状況は。

答 国、県からもその史跡としての価値が高い評価をいただいている。調査成果をもとに専門家の意見をいただきながら国指定を目指す。広く市民の皆様はその歴史的価値を理解してもらうよう取り組む。

地域活性化策として

問 国は農泊や古民家改修を支援し、再生・活用の取り組みを進める。市の対応策は。

答 活用できる支援策については積極的に利用する。

晩婚化・未婚化対策について

問 市の晩婚化・生涯未婚率の現状は。

答 生涯未婚率は2015年度の国勢調査で、男性は19.0%。女性は9.75%。一方結婚支援事業も拡充させたい。初婚年齢は15年度は男性30.7歳、女性28.5歳だった。

「ママファースト運動」推進の考えは

答 子育てにやさしい社会の実現に向けた様々な取り組みを進める。

「ハローライフ」という結婚・出産・育児・親の介護などの相談体制の確立の考えは。

答 相談される方に寄り添いながら、安心して暮らせるよう取り組んでいく。